

高木凜々子と仲間たち “真夏に響く珠玉の名曲の饗宴”



8月2日(土)

OPEN 12:30 START 13:00

成城ホール

【高木凜々子と仲間たち“真夏に響く珠玉の名曲の饗宴”】

世界を舞台に活躍するヴァイオリニスト・高木凜々子が、精鋭の仲間たちと贈る至高のアンサンブル。成城ホールのステージで、バッハ、ブラームス、サン=サーンス、メンデルスゾーンなど時代を超えて愛される名曲が、熱く情熱的に奏でられます。ヴァイオリン、チェロ、ピアノが織りなす繊細でダイナミックな響きに、心が震える特別なひととき。夏の午後を彩る、唯一無二の音楽体験をぜひお楽しみください。

出演

高木凜々子 増山頌子 鈴木慎崇

TICKET

全席指定：5,000円

成城ホール

小田急線 成城学園前駅 徒歩3分

指定席チケット
一般発売
4月12日(土)
午前11時から

お問合せ

オデッセー 03-4426-6303

詳細情報はここから▶





【高木凜々子（たかぎ りりこ）】

東京藝術大学在学中にブダペスト(ハンガリー)で行われたバルトーク国際コンクールで第2位及び特別賞を受賞し国内外から注目を浴びる。その他シュロモ・ミンツ国際コンクール第3位、東京音楽コンクール第2位及び聴衆賞、日本音楽コンクール第3位及びE+ナカミチ賞など数々のコンクールで入賞。

読売日本交響楽団をはじめ、国内の主要オーケストラと数々の協奏曲を共演。

また、ハンガリー国立交響楽団セグドをはじめ、海外のオーケストラとも数々の協奏曲で共演。

国内外各地でリサイタルを開催し、構成力や曲の解釈、美しい音色に高い評価を得ている。

テレビやラジオなどのメディア出演も多く、YouTubeでは650本以上の演奏動画を配信。

チャンネル登録者数は9万6千人を超え、オンラインでも幅広い活動を展開している。

2010年度ヤマハ音楽奨励学生。2018年度2021年度ローム音楽奨励学生。

東京藝術大学を卒業。

2020年CD「凜々子プリランテ」をリリース。

2022年には公式盤としての初CD「リリコ・カンタービレ」をリリース。

2023年ミニアルバム「シャコンヌ&ロマンス」をリリース。

2024年9月には、「バッハ無伴奏ソナタ&バルティータ全曲集」を国内最年少でリリース。発売前から既に大きな注目を集めた。使用する楽器は(株)黒澤楽器店より貸与のストラディバリウス「Lord Borwick(1702年)」

公式ウェブサイト <https://www.ririkotakagi.com/>



【増山嬌子（ましやま しょうこ）】

桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部卒業。同研究生3年次修了。

第7回泉の森ジュニアチェロコンクール金賞。第12回日本演奏家コンクール第3位。第67回全日本学生音楽コンクール入選ほか。

武蔵野市民交響楽団と協奏曲を共演。摂津響Saal「ゴールドベルク・プロジェクトvol.4」にて田中晶子、豊嶋泰嗣の両氏と共演。日本演奏連盟主催リサイタル、NHK-FM『リサイタル・パッシオ』ほか出演多数。

チェロを5歳より始め毛利伯郎氏に師事。

マスタークラスにてピーター・ウィスベルウェイ、堤剛、ジャン・ワンの各氏の指導を受ける。

室内楽を原田幸一郎、東京クワルテット、徳永二男、藤原浜雄の各氏の指導を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェロー。

大阪交響楽団副首席奏者を経て、現在バシフィックフィルハーモニア東京副首席奏者、戸塚区民文化センターさくらプラザサポートアーティスト。



【鈴木慎崇（すずき よしたか）】

札幌市出身。4歳よりピアノ、ソルフェージュを学ぶ。東京藝術大学音楽学部卒業。在学中、学内においてアリアドネ・ムジカ賞受賞。三角祥子、北島公彦、角野裕の各氏に師事。幼少よりさまざまなコンクールで入賞する。第51回全日本学生音楽コンクール、第71回日本音楽コンクールにて、それぞれ第1位。新日本フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など、さまざまなオーケストラと共演。また、リサイタル、FM、CDなどで数多くの演奏家と共演。国内外の音楽祭、コンクールにおいて公式伴奏者を務めるなど、伴奏、室内楽にも活動の場をひろげている。

最近では、オーケストラの演奏会に鍵盤楽器奏者として度々出演している。

武蔵野音楽大学非常勤講師を務めたのち、現在、東京藝術大学、洗足学園音楽大学非常勤講師として、後進の指導にあたっている。